

- ・常に人命の尊重と人間愛に基づいた医療・介護につとめます。
- ・全ての人に平等に心身両面にわたる医療・介護につとめます。
- ・地域の人達から信頼されるよう研鑽と協調をすすめます。

### 病院の取り組み ~ 音楽療法 ~

当院では、病院基本方針のひとつである「**個人の尊厳と生活の質を尊重する**」ことを目的に、平成18年から、音楽の癒しの力を入院生活に導入する試みをしています。

音楽は右脳に働きかけ、心を穏やかにしたり、勇気づけてくれたりしてくれます。また、幼い頃に口ずさんだ歌や人生の節目に流行していた歌は、その当時の自分に帰れて懐かしさに満たされます。

そのような効果を期待して、「ミニコンサート」、「音楽の集い」、「タッチング」と名付けた取り組みを実践しています。

### ミニコンサート プロの奏でる音色に心を癒されています。



プロの演奏家をお招きして、平成18年1月から、クラシックのミニコンサートを5回開催しました。

すばらしい生演奏を間近で聴くことができ、いずれのコンサートも、入院患者さん、利用者さん、出席された皆さんに大きな感動をあたえていただきました。今後は、クラシックだけでなく和楽のコンサートも計画していきたいと考えています。

### 音楽の集い (集団音楽療法)

平成18年9月から毎月2回程度、南砺市でピアノ教室を主宰されている大江幸子先生がボランティアで協力してくださっています。

先生のピアノ伴奏に合わせて、患者さんや利用者さんに馴染み深い童謡、唱歌や流行歌などを合唱しています。患者さんたちは「王将」や「船頭小唄」などの懐メロがお得意で、中には拳を上下させたりと体全体で表現される方もおられます。

平成18年9月から平成20年12月の間に開催された音楽の集いに参加された入院患者さん、通所リハビリテーション利用者さん、ご家族、職員等の延べ人数は2343名です。



ミニコンサートや音楽の集いの様子は、開催日の当日もしくは数日以内に、当院のホームページやブログで紹介しています。どうぞご覧ください!!



ホームページ <http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>  
ブログ <http://blog.cabrain.net/CN016010/>

### タッチング (個別音楽療法)

平成20年5月から、音楽の集いに参加することが困難な寝たきりの患者さんを対象に、タッチングを実施しています。各階病棟において、週2回ほど、午後2時から約40分間、3~4人の患者さんのベッドサイドに出向き、数人の職員が歌を歌いながら手や足を擦ったり、軽く動かしたりしています。選曲は、患者さんやご家族から教えて頂いた「元気な頃によく口ずさんでいた歌」、「好きだった歌手」などの情報をもとにしています。

多くの患者さんが、歌い始めると穏やかな表情になり、四肢の緊張が和らぐのが擦っている職員の手伝わってきます。また、意思表示の殆どなかった患者さんが、歌のワンフレーズを歌われたり、好みの歌とそうでない歌では、表情や緊張の度合いが異なる反応を示されることが実感できました。指が拘縮している方の爪切りも歌いながらだと不思議なくらいに指が伸びて上手にできることや、入浴中に歌を歌いながら洗身しリラックスしていただけることがあるようです。このような発見や効果が得られることで、実施する職員にとっても満足感が得られる得難いひと時となっています。



『どうぞ、面会の折などに患者さんの手を握りながら歌ってみてください。患者さんはきっと応えてくださることでしょう。』



今後も、私たちは、患者さんのQOL (生活の質) 向上のためにも、音楽を用いたこれらの活動を継続し発展させていきます。

平成20年9月10日(水)各階病棟において『敬老会』が開催されました。当日は、山田民謡同好会の皆さんが、三味線にあわせて、「こきりこ節」などの歌や、紙テープがうどんにかわってしまう手品などを披露してくださいました。



平成20年12月13日(土)通所リハビリテーションでは、福寿草一座の皆さんが、艶やかな着物に身を包み、「夫婦心」、「おわら慕情」、「祝い節」などのメロディーにあわせて、歌や踊りを披露してくださいました。



## 福野小学校4年生の慰問

平成20年11月20日(木)、26日(水)南砺市立福野小学校の4年生が訪れてくださいました。



入院患者さんや通所リハビリテーションの利用者さんは、縦笛演奏や合唱を聴いたり、子供たちと一緒に折り紙を折ったり、風船バレーで対戦したりしてすごされました。子供たちの元気な姿を見たり、肩もみなどでふれ合うことで、とても嬉しそうに微笑んでおられました。

## 介護の道へ！高校生の介護実習！

平成20年は、井波高校福祉科2年の生徒さん4名が、介護実習に取り組みました。

生徒さんたちからは、入院患者さんと接する緊張感、授業で習ったことを患者さんに対し実践する難しさや、介護に携わる強い気持ちが伝わってきました。



指導を担当した職員からは、「学校で学生同士がモデルになり練習するのは違い、現場では患者さん一人一人の状態にあわせた支援が必要になります。今回の実習で得たことを、学校で得た知識と共に活かされるよう願っています。」などの励ましの言葉がかけられました。また、「実習最終日に生徒さんから、『介護という仕事に魅力を感じた』『進路を考えると、介護、医療の分野も視野にいれていきたい』などの言葉が寄せられたことを嬉しく思いました。」との感想もありました。

平成20年11月16日(日)、石川県河北郡津幡町にある特別養護老人ホームふいらーじゅにて、第3回若葉グループ看護・介護部事例発表会が開催されました。

若葉グループの病院及び施設から、経口摂取機能の回復に関する事例2題、終末期ケアに関する事例2題、認知症ケアに関する事例3題、外出支援に関する事例1題、計8事例が発表されました。



当院からは、「経口摂取能力の維持、向上へ～摂食・嚥下障害患者に対する訓練パスの作成～」 「終末期ケアへの取り組み～患者さんとご家族の思いの比較～」の2事例を発表しました。発表を通し、活発な討論が行われ、若葉グループの共通理念である「人命の尊重と人間愛に基づいた医療、看護及び介護」の具体化につながる内容となりました。

## オープンホスピタル2008

平成20年11月30日(日)1階エントランスホールと通所リハビリテーション室でオープンホスピタルを開催しました。『年をとっても、障害があっても口から食べられるように』と題し、嚥下のしくみと口腔ケアなどについて介護者教室を実施しました。また、患者さんの食事形態を考慮した嚥下ピラミッド、5段階レベルの嚥下食の説明や試食コーナーを設けました。



その他、超音波骨密度測定器や動脈硬化度測定器などによる健康チェック、コーヒーや抹茶などが楽しめる喫茶コーナー、遊休バザーを設けました。また、南砺総合高等学校福野高校の女子生徒さんが琴と三味線の演奏をして下さいました。



当日は、多くのボランティアの方々のご協力により、円滑に運営することができました。ありがとうございました。

## 新年の会

平成21年1月7日(水)各階病棟において“新年の会”が開催されました。はじめに、紋付袴姿と巫女姿の職員から、入院患者さんや通所リハビリテーションの利用者さんに、御神酒が振舞われました。

ともじび会の皆さんが来てくださり、『福光めでた』、『二輪草』などの歌や、『祝賀の舞』、『越中おわら』の舞などで会を盛り上げてくださいました。



## 編集後記 あなたの好きな音楽は何ですか？

人それぞれ好みのジャンルは違うと思いますが、リラックスさせてくれたり、活力を引き出してくれたりする音楽は本当にいいものですね。ところで、前回8号の発行から少し間があいてしまいましたが、皆さんに喜んで読んでいただける広報誌を目指して、今年も頑張りますのでよろしくお祈りします。

